

『りょう Cafe』のご案内

1. りょうCafe - 議会レポ -

【内容】

平成28年第1回船橋市議会定例会で決まったことを報告するとともに、今後の船橋市議会を取り上げてほしいこと(疑問、意見、陳情など)についてざっくばらんに話し合います。

【日時と場所】

4月8日(金)18時 - 21時 中央公民館第6・7集会室
4月9日(土)13時 - 16時 飯山満公民館第2集会室

2. りょうCafe - 一般会 -

【内容】

今回のテーマは「船橋市総合計画」です。市役所職員の方に概要を説明してもらい、質疑応答をします。船橋市政運営の基本を理解して、今後、より発展的なことを勉強していきましょう!

【日時と場所】

4月22日(金)18時 - 21時 中央公民館音楽室
4月23日(土)13時 - 16時 飯山満公民館第2集会室

りょうカフェのルール

- 一 全員の考え方や意見を尊重する。
- 二 プライバシーを尊重する。
- 三 何事も強制しない。
- 四 発言は簡潔明瞭に。
- 五 入退室は自由です。
- 六 参加費は無料です。



石川りょうプロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊(ケニア)、国際連合インターン、開発コンサルタント(民間企業)を経て、外務省(外交官)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT)257点(TOEIC 915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト、政策学校「一新塾」32期生、ふなばし市民大学学校平成26年度ボランティア入門学科

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト

<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。

発行者: 石川亮

住所: 船橋市芝山3-26-1-703

携帯電話: 080-6575-4711

固定電話: 047-463-2690

メール: info@ishikawaryo.net

船橋市議会議員

無所属

石川りょう通信

2016年3-4月号 Vol.6



船橋市議会 定例会情報

平成28年第1回定例会は2月19日から3月29日までです。市長による平成28年度の市政執行方針が示されたり、当初予算などが審議される重要な議会です。60以上の議案が提出されます。

今議会において、私は、予算特別委員会と総務委員会に出席します。

第2回定例会は6月頃に開催されます。

船橋市議会は動画でもご覧いただけます!

議会や委員会などのライブ中継や録画など
<http://funabashi.gijiroku.com/>



議会運営委員会の視察報告



2月2日から4日まで、船橋市議会運営委員会、議会改革の先進議会である大津市議会、堺市議会、神戸市会、長崎県議会の視察に行ってきました。

議場に大きなスクリーンを設置し、パワーポイントを使って市民にもわかりやすい議論を行っている堺市議会。「政策検討委員会」を組織して、議会が積極的に条例(市独自のルール)を作っている大津市議会。広く市民に議会活動を理解してもらうと同時に、市民の声を直接聞くために、議会全体による定期的な議会報告会を開催している神戸市会。

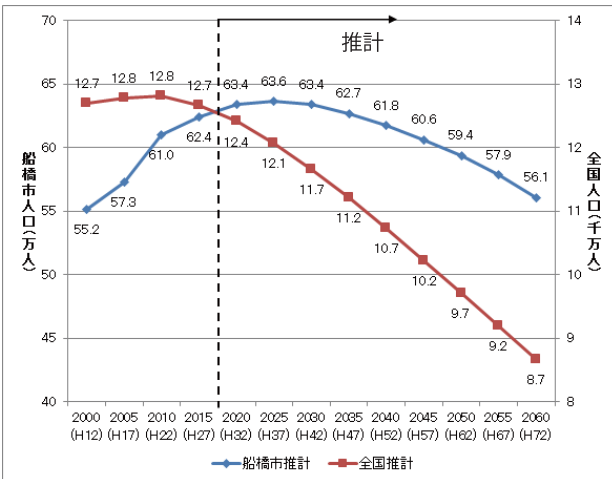
年間を通じて議会活動を活発化させるために、通年で議会を開催していた長崎県議会(平成26年に廃止)。

これら全ての議会に共通していることは、目指すべき議会の姿を明示し、その実現に向けて具体的にどのようなことを実践していくのかという内容を定めた議会基本条例を定めていることです。

今回の視察を通じて高まった議会改革に対する機運を活かし、市民にも執行部にも頼られる船橋市議会を目指して引き続き頑張っていきます。



船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略



【図表1】総人口の将来推計

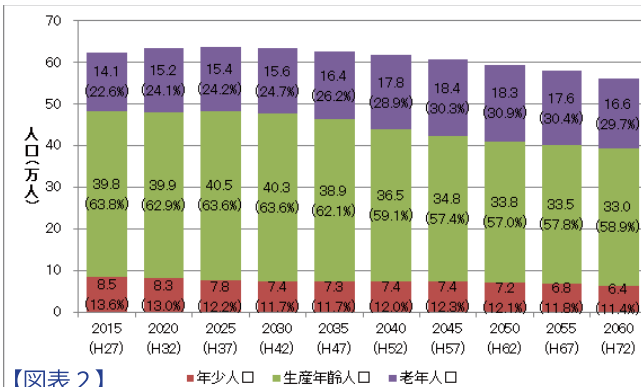
皆さんは、船橋市の未来を考えたことがありますか？日々のニュースや新聞で、日本は人口減少、少子高齢化時代を迎えていると報道されています。

では、船橋市はどうか？日本全体として人口が減り始めている一方、船橋市は、しばらくは緩やかに増加することが予想されています。しかし、2025年の63.6万人をピークに減少し、2040年には61.8万人、2060年には56.1万人となっていく見込みです(図表1)。

この流れと平行して、年少・生産年齢人口(15-64歳)は徐々に減少していく一方で、高齢化が急速に進んでいくという現象が発生します。2015年には39.8万人だった生産年齢人口は、2060年には33万人に減少し、65歳以上人口は、2015年に14.1万人だったものが2045年には18.4万人に増加することが予想されています(図表2)。

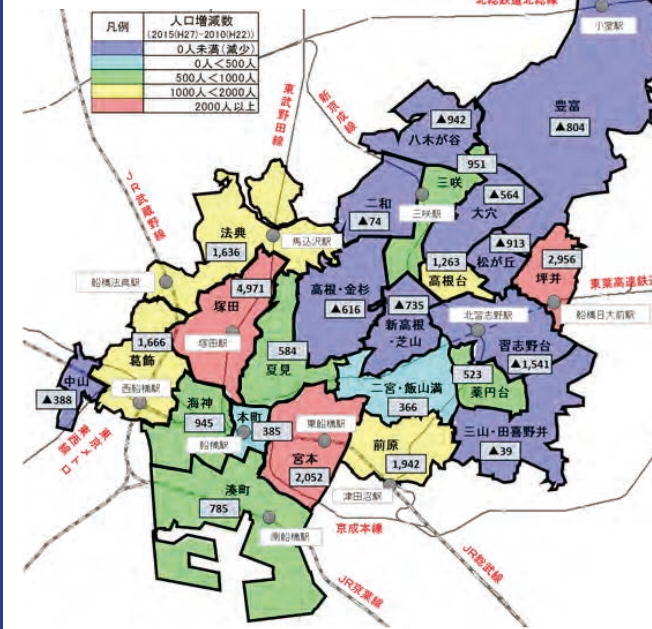
船橋市では、これらの人口増減や高齢化率の推移が、地域によって二極化されています。人口増加地区が多い南部・西部地域と、人口が減少し高齢化が進んでいる地区が多い北部・中部・東部地域です(図表3)。

生まれてくる子どもの数に関しては、市民の皆さんが希望している子どもの出生率(希望出生率)と実際の出生率(合計特殊出生率)との間に開きが生じています。アンケート調査によると、希望出生率は1.73なのですが、合計特殊出生率は1.39です。夫婦が希望している子どもの数を持ってない理由には、①年齢や健康上の理由(50.5%)、②保育所など子供の預け先がないこと(32.1%)、③収入が不安定なこと(26.3%)などがあります。



【図表2】

【図表3】24地区コミュニティ別の人口増減数(2010(平成22)年⇒2015(平成27)年)



これら人口減少問題の克服と地方創生を併せて行うために、船橋市は現在、「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作っています。

人口減少などに伴う地域経済の停滞に対して「しごとを創生する」施策*1。少子高齢化などに伴うまちの活気の喪失に対して「船橋の魅力を生かす」施策*2。市内の人口動向が二極化していく現状などに対応するための「まちを創生する」施策*3。結婚・出産・子育ての希望をかなえる「ひとを創生する」施策*4です。

「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、船橋市議会においては、私が所属している総務委員会の所管です。現在の策定の過程、そして、今後の効果の検証の段階では、市民の皆さんの実感と声を、船橋市議会としてしっかりと反映していきたいと考えています。皆さんのご意見をお聞かせください。

*1 『しごとを創生する』施策

- 【1】起業・創業の促進
- 【2】企業の成長支援
- 【3】企業誘致の促進
- 【4】農水産業の活性化
- 【5】産業横断的な取組の推進

*3 『まちを創生する』施策

- 【1】地域の実情に即した対策の推進
- 【2】進行する高齢化への対応
- 【3】市民が安全に安心して暮らせる環境づくり
- 【4】時代に合った魅力あるまちづくり
- 【5】船橋に愛着・誇りを持つ取組の推進

*2 『船橋の魅力を生かす』施策

- 【1】船橋に行ってみたいと思う魅力の情報発信
- 【2】船橋に行ってみたいと思う魅力の創出

*4 『ひとを創生する』施策

- 【1】独身者の結婚の希望がかなう環境づくり
- 【2】夫婦が希望通り子供を持てる環境づくり
- 【3】安全に安心して子育てできる環境づくり

「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案は、船橋市のホームページに公開されています(<http://www.city.funabashi.chiba.jp/shisei/publiccomment/0002/p041397.html>または、右のQRコードから)。各施策のより詳しい内容はこちらをご覧ください。

なお、船橋市は、2月19日から3月22日まで、同戦略に対する市民の皆さんの意見を募集しています。ご意見をお寄せ下さい。

